

篠崎理一郎

Riichirou Shinozaki

アーティスト・イラストレーター

略歴

1989年 鹿児島県生まれ

2013年 鹿児島大学大学院理工学研究科数理情報科学専攻修了

アーティスト・イラストレーター。学生時代より主に線画やドローイングを軸に制作する。漫画や数学をルーツに、日常風景や心象状態を掛け合わせつつ、繊細かつインタラクティブな世界を表現する。

個展・グループショー、アートプロジェクト参加ほか、

トンボ鉛筆、Johnbul、TK from 凛として時雨、大正製薬、YANASE、

Manhattan Portage、URBAN RESEARCH DOORS、ソニーミュージック・レーベルズ、

鹿児島銀行、SYNAPSE、THE GREAT SATSUMANIAN FESTIVAL。

幅広いメディアへの作品提供を手掛ける。

展覧会

2012年 個展「リトル・アメイジンガーの世界」(マルヤガーデンズ/鹿児島)

2016年 Asian Creative Crossing 2016 / Thailand-Japan (THE JAM FACTORY/タイ)

2017年 無印良品企画展「線で描く「じぶん都市」をつくろう」(OPEN MUJI キャナルシティ博多/福岡)

2017年 かがしま文化情報センター(KCIC)「モノセレモニーズ」プロジェクトにて、
建築家・辻琢磨氏との協同ドローイングを制作

2018年 個展「インサイドダイバー」(霧島アートの森/鹿児島)

2021年 フロム・ジ・エッジー80年代鹿児島生まれの作家たち(鹿児島市立美術館/鹿児島)

2022年 個展「雨、塊ヲ破ラズ」(山形屋画廊/鹿児島)

2022年 個展「Angle Z: MULTIVERSE」(PAGIC Gallery/東京)

2022年 個展「<心の臓>」(藤井大丸7 gallery/京都)

2022年 3331 ART FAIR 2022(3331 Arts Chiyoda/東京)

2022年 個展「日常麒麟」(gallery HINGE/鹿児島)

2023年 個展「INSIDE_DIVER」(代官山蔦屋書店/東京)

受賞

2016年 Human Museum (Tambourin Gallery/東京) [在本彌生賞]

2016年 UNKNOWN / ASIA (梅田ハービスホール/大阪) [大阪府府民文化部都市魅力創造局 寺浦薫賞]